



子どもの育ち  
元気で長生き  
くらしと営業  
全力応援

日本共産党



ももがみ  
百上まな

プロフィール:1959年京都府綾部市出身 61歳。華頂短期大学社会福祉学科卒。  
1985年結婚し長田に居住。上野ひまわり作業所勤務。  
2009年初当選 3期目。現在、教育民生常任委員・広聴広報委員。長田地区住民自治協議会運営委員。  
党県委員 党伊賀市委員会委員長。  
趣味 美術などアート鑑賞。住所 伊賀市長田2004 自宅 24-285 (TEL&FAX)  
携帯 090-2138-1590 Mail manamomo@ict.ne.jp

国も市も動かして

新型コロナ  
緊急対策

コロナ危機から  
いのちとくらし  
守ります

感染拡大をとめる…検査体制の拡充と医療・介護の支援

- 発熱・咳などの症状があればコロナ検査を
- 医療・介護・保育・教育等で働く人に、定期的な PCR 検査を

自治体が独自に検査

寝屋川市	介護施設従事者約 800 人に定期的に PCR 検査実施 約 7100 万円
新発田市	保育園、小中学校等の職員、民生委員、高齢者等の PCR 検査全額市が負担
鈴鹿市	私立保育園・私立幼稚園・認定こども園の職員対象に自費による PCR 検査費用を補助

くらしを応援する…くらしと営業の補償と支援

- 〈伊賀市事業継続応援給付金〉の拡充を（交付用件の緩和 給付金の増額）  
申請期間3月31日迄延長が実現しました！
- すべての事業を対象に減収に見合った補償を

使うなら今でしょ!

- コロナ感染症対策基金(約4億7千万円)
- 国からの交付金(約1億4千万円)
- 財政調整基金(貯金)(約48億円)

市へコロナ対策  
申入れ 4回



- PCR 検査の充実
- 医療機関や医療従事者への財政支援
- 軽症者や濃厚接触者の受け入れ施設の確保
- 雇用と営業を守る新たな追加施策
- 生活困窮者への支援、相談事業の拡充

困っているみなさんの声が市政を動かします

- 無症状の方が知らない間にうつしていることが不安。市民への PCR 検査をお願いします（持病がある女性）
- 国の持続化給付金をもらったけれど、1回だけでは、全く足りない（小売業）
- 感染しない、させないために休日も出かけず家にいます（保育士）
- ひとり暮らしやから、自宅療養だけでは困る。ちゃんと入院させてほしい（高齢女性）
- 伊賀市の正確な情報を知らせてほしい
- ワクチン接種を早くしてほしい